

業務用油だき可搬形ヒーター放射式直火形

バルシックス
VAL6SY
バルシックス エスワイ

取扱説明書



- お使いになる前に、必ずこの取扱説明書をよく読んで、製品を正しくお使いください。
- 取扱説明書は、お使いになる方がいつでも見ることができる場所に大切に保管してください。



もくじ

まえがき	2	5. 保管方法	15
1. 特に注意していただきたいこと	4	6. 故障・異常時の処置方法	15
2. 各部の名前	7	7. 仕様	17
3. 使用方法	9	8. 安全ラベルの一覧	17
3-1. 運転準備	9	9. アフターサービス	18
3-2. 運転操作方法	10	10. 別売部品について	18
3-3. 運転モードの説明	12		
4. 点検方法	13	巻末：保証書・お客様窓口	
4-1. 日常の点検と手入れ	13		
4-2. 定期点検	15		

この度はスズオカのパルシックスをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

まえがき

◎ この取扱説明書には、本製品を安全に、正しくお使いいただくため、必ずお守りいただきたい注意事項が表示されています。

その注意事項は **⚠危険**、**⚠警告**、**⚠注意** に区分されています。

表示内容をよくご理解いただき本文をお読みください。



危険

この表示を無視して、誤った「取扱い」をしますと、人が死亡、重傷を負う危険、又は火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を表示しています。



警告

この表示を無視して、誤った「取扱い」をしますと、人が死亡、重傷を負う危険、又は火災の可能性が想定される内容を表示しています。



注意

この表示を無視して、誤った「取扱い」をしますと、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を表示しています。

※ 「⚠注意」の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

◎ 文章の横にあるマークは次のように表しています。

	禁止 (このマークは、禁止の行為であることを表します。)
	強制 (このマークは、行為を強制したり指示したりする内容を表します。)
	注意 (このマークは、注意を促す内容があることを表します。)



重要なお知らせ



警告

-
- 本製品は家庭用として使わないでください。火力が強いため、密閉した場所で使用すると火災、一酸化炭素中毒のおそれがあります。
 - 本製品の操作および点検・手入れを行うときは、必ずこの取扱説明書に従ってください。
 - 部品を交換される場合には、必ず静岡製機（株）の純正部品をお使いください。純正部品以外のものを使用したことにより発生した損害・事故につきましては弊社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
 - この取扱説明書に従わなかったり、誤用や改造が行われたことにより発生した損害・事故につきましては弊社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。



注意

-
- 本製品は「裸火」に該当します。不特定多数の人が出入りする場所で使用するときは、消防署の許可を取ってお使いください。
 - ・ 百貨店の売り場、顧客の出入りする場所
 - ・ 劇場、公会堂、集会場の舞台、客席（上記以外は使用地域の消防署にお問い合わせください）
-
1. 近年、産業機械には、新しい加工方法の採用により、さまざまな危険が数多く発生する傾向にあります。本製品の取扱上の危険についても、すべての状況を予測することはできません。そのため、この取扱説明書の記載事項や製品に表示してある注意事項は、すべての危険を想定しているわけではありません。従って、製品の操作または日常点検を行う場合は、この取扱説明書の記載および製品本体に表示されている事項に限らず、安全対策に関しては十分な配慮が必要です。
 2. この取扱説明書について、質問やより詳しい情報が必要な場合は、お買い上げの販売店（以下販売店という）または、最寄りの弊社営業所（巻末に記載）にお問い合わせください。
 3. この取扱説明書において、万一、ページの「乱丁」や「落丁」などがあった場合は、お取り替えいたしません。お手数ですが、販売店までご連絡ください。



この取扱説明書の目的と構成について

.....





この取扱説明書の目的は、業務用油だき可搬形ヒーター VAL6 SY（バルシックスエスワイ）について、製品の正しい操作および点検・手入れの方法を知っていただくために詳しい情報を提供することです。







.....

1 特に注意していただきたいこと

安全のため、必ずお守りください。

* 下記の項目は、本製品をお使いいただく上での重要な安全事項が書かれています。ご使用前に必ずお読みください。

 危険			
1	ガソリン厳禁	ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災の原因になります。	
2	可燃性ガスの発生する場所での使用厳禁	可燃性のガスを発生するもの（シンナー、ガソリン、LPGなど）を使っている場所や置いてある場所では、絶対に使用しないでください。引火して爆発し、火災、やけどをするおそれがあります。	
3	換気必要	換気を十分に行えない場所では使用しないでください。換気せずに使用し続けしないでください。酸素が不足すると、不完全燃焼し、一酸化炭素などが発生し、中毒になるおそれがあります。使用中は必ず換気をして新鮮な空気を補給してください。	

 警告			
1	スプレー缶厳禁	スプレー缶など密閉容器を加熱したり、熱の当たるところに置かないでください。熱でスプレー缶などの圧力が上がり、爆発し、ケガをすることがあります。	
2	可燃性粉じん厳禁	可燃性粉じん（木くず、紙くず、繊維くずなど）が発生する場所では使用しないでください。可燃性粉じんが製品内に吸い込まれると加熱され火の粉になって吹き出され、火災の原因になることがあります。	
3	高温部に注意	燃焼中や、消火後約30分間は放熱部、及び放熱部周辺に手など触れないように注意してください。やけどします。	
4	改造使用の禁止	改造して使用しないでください。故障・火災等の原因になり危険です。	
5	感電注意	雨水、雪などのかかる場所や湿度の高い所では使用しないでください。感電するおそれがあります。日常の点検、手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。	

安全のため、必ずお守りください。

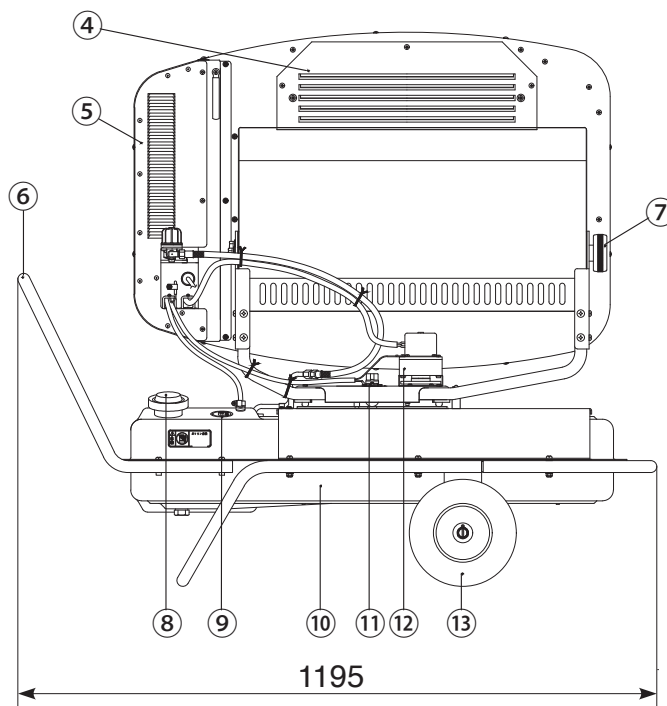
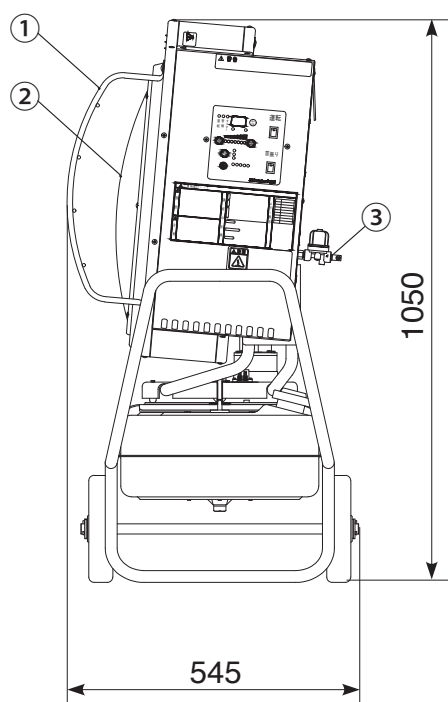
 注意			
1	可燃物からの距離確保	可燃物は放熱部の前方及び上方から2.5m以上、左右側方及び後方から2m以上離してください。火災の原因になります。	
2	遮へい物不可	放熱部前方1m以内には、遮へい物を置かないでください。異常燃焼や火災の原因になります。	
3	点火操作の繰り返し禁止	点火操作を3回繰り返しても着火しない場合は、それ以上点火操作ができなくなります。燃料切れ以外の場合には火災の原因になりますので、販売店に連絡してください。	
4	床面高温注意	製品を使用するときは、床面が高温にならないように注意してください。火災の原因になります。木製床で使用する場合は必ず別売のミラーシートをご使用ください。	
5	標高の高いところでの使用注意	標高1000m以上の場所で使用する場合は、調整が必要です。調整は販売店に相談してください。そのまま使用すると、異常燃焼や火災の原因になります。	
6	冷えた状態で角度調整	角度調整するときは、製品が冷えた状態で行ってください。高温部に触れるとやけどします。	
7	異常時使用禁止	におい、煙の発生など異常燃焼を起こしたときは、直ちに使用を中止し、販売店に連絡してください。そのまま使用すると火災の原因になります。	
8	燃焼中移動禁止	製品を火の付いたままで移動しないでください。やけどのおそれがあります。また、転倒すると火災の原因になります。	
9	消火時の注意	電源プラグをコンセントから抜くときは、運転ランプが消灯したことを確認してください。	
10	給油時消火	給油は、火が完全に消えていることを確認してから行ってください。火災の原因になります。	
11	電圧注意	電源は、単相交流100V (90~110V以内) で使用してください。火災・感電・故障の原因になります。	
12	アースコード未接続での使用禁止	アースコードを接続してください。接続しないで使用すると感電のおそれがあります。	
13	電源プラグ引き抜き注意	電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って行ってください。電源プラグが損傷し、感電やショートして発火することがあります。	

安全のため、必ずお守りください。

 注意			
14	電源コード 破損注意	電源コードは、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、挟み込んだり、加工しないでください。また、重いものを載せるなど破損の原因となることは避けてください。火災・感電の原因になります。	
15	消火の確認	消火操作をしたときは、火が完全に消えていることを確認してから離れてください。	
16	使用時の周囲温度 に注意	製品を使用するときは、 -20°C ～ 40°C の周囲温度でお使いください。特に、周囲温度が 40°C 以上を超えると製品が過熱され、火災の原因になります。	
17	製品使用場所の 制限（次の所では 使用しない）	災害・傷害等を未然に防止するために、次のような場所では使用しないでください。 <ul style="list-style-type: none"> ● 使用床面が振動する場所。 ● 使用床面が傾斜している場所（水平でない場所） ● 階段、非常口（避難口）、部屋の出入口等。 ● 周囲に不安定な積荷のある場所。 ● 風の強い場所や、湿気が多い場所、ほこり・金属粉の浮遊している場所。 ● その他、人の移動に障害となる場所等。 	
18	手袋着用	本体を掃除するときは、軍手をはめて行ってください。手を切るおそれがあります。	
19	保管、廃棄する時の 油抜き	長期間使用しないとき、または保管、廃棄するときには、必ず油タンクを空にしてください。油が漏れて火災の原因になります。	
20	廃棄時の不法投棄 禁止	製品を廃棄するときは、必ず専門業者に依頼してください。絶対に不法投棄はしないでください。	
21	譲渡時の「取説」 添付の励行	製品を譲渡するときは、「取扱説明書」を必ず添付してください。	
22	サーモスタット 感温部設置場所 注意	サーモスタットを取り付けた場合、サーモスタットの温度感知部は赤外線が直接当たる所に置かないでください。頻繁にON（燃焼）／OFF（消火）を繰り返す、故障の原因になります。	
23	無人運転時の注意	サーモスタット・タイマーを取り付けた場合、無人状態でも自動的に着火します。放熱部前方の可燃物や遮へい物など周囲に燃えやすい物がないか確認してください。火災の原因になります。	
24	別売部品取付時の 注意	別売部品を取り付けるときは、電源プラグを外して行ってください。工具などの金属部が電装部品に触れますと、感電、破損のおそれがあります。	
25	腐食性ガスの発生す る場所での使用禁止	腐食性ガスが発生する場所での使用はしないでください。故障・火災等の原因になることがあります。	
26	本体転倒注意	製品を転倒させないでください。空気抜き部から油が漏れたり、破損の原因になります。	
27	輸送時の注意	燃料を入れたまま輸送しないでください。転倒や振動により油タンク内の燃料が漏れて火災の原因になります。	

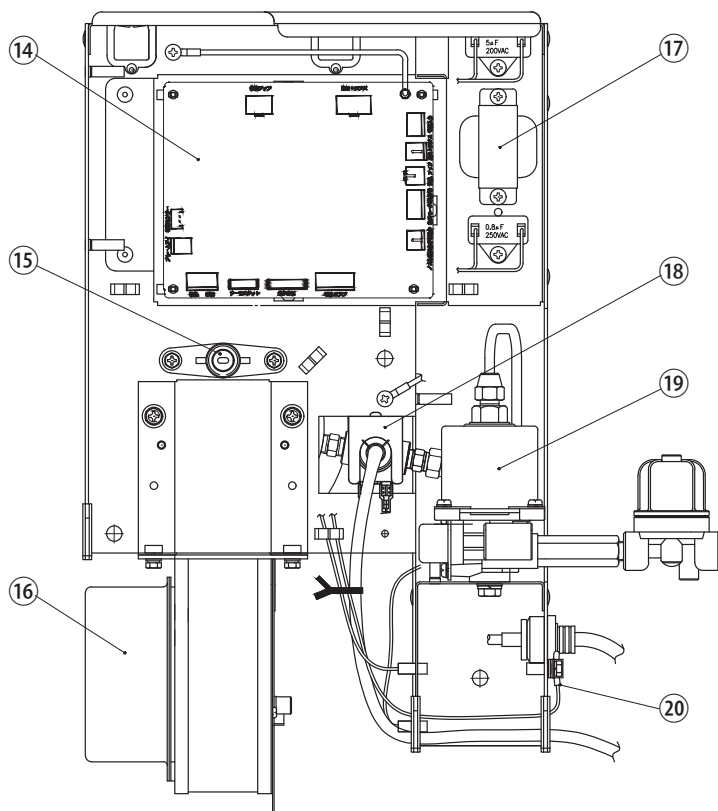
2 各部の名前

◆ 本体部



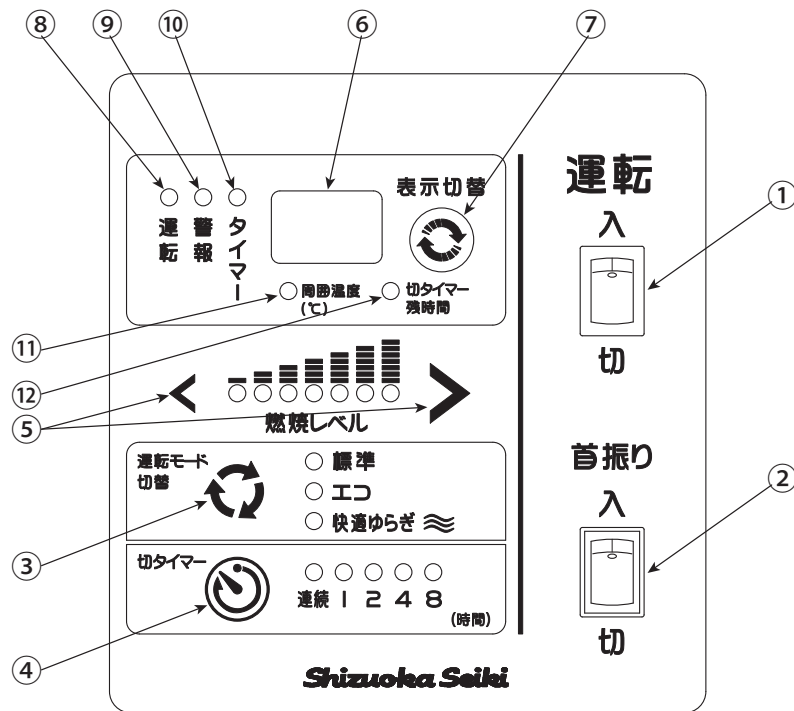
- | | |
|---------------|--------------------------|
| ① プロテクター | ⑧ 給油口ふた
(中に給油ロストレーナー) |
| ② 放熱部 | ⑨ 油量計 |
| ③ 給油ストレーナー | ⑩ 油タンク |
| ④ サーキュレーターカバー | ⑪ 感震器 |
| ⑤ バーナーカバー | ⑫ 旋回モーター |
| ⑥ 移動ハンドル | ⑬ 車輪 |
| ⑦ ノブボルト | |

◆ バーナー部



- | |
|---------------|
| ⑭ バーナーコントローラー |
| ⑮ フレームアイ |
| ⑯ 燃焼ファン |
| ⑰ 変圧トランス |
| ⑱ 電磁弁 |
| ⑲ 電磁ポンプ |
| ⑳ 温度センサー |

◆ 操作部



- ① 運転スイッチ
点火および消火に使用します。
- ② 首振りスイッチ
首振り運転に使用します。
- ③ 運転モード切替ボタン
「標準運転」、「エコ運転」、「快適ゆらぎ運転」の運転モードを切り替えます。設定されている運転モードのランプが点灯します。
- ④ 切タイマーボタン
タイマーを設定するときに使用します。設定されているタイマー時間のランプが点灯します。
- ⑤ < >ボタン
(燃焼レベル設定)
「標準運転」および「快適ゆらぎ運転」の燃焼レベルを設定するときに使用します。設定されている燃焼レベルのランプが点灯します。
- ⑥ 表示部
運転中は「周囲温度」または「切タイマー残時間」を表示します。周囲温度が -1 から -10℃のときは「L」が点灯、-11℃以下のときは「L」が点滅、41℃以上のときは「H」が点灯します。切タイマー残時間が、1時間以上のときは1時間単位で表示し、1時間未満のときは1分単位で表示します。(残時間3時間のときは「3H」を表示、残時間37分のときは「37」を表示します。)
切タイマーが連続のとき、「」が回転表示します。異常が発生したときはエラーコードを表示します。
- ⑦ 表示切替ボタン
運転中に表示部に表示させる内容を切り替えます。(周囲温度または切タイマー残時間)
- ⑧ 運転ランプ
運転中はランプが点灯し、運転スイッチ「切」による消火中(冷却中)は点滅します。
- ⑨ 警報ランプ
正常に運転を開始しない、または異常により停止したときに点灯します。
- ⑩ タイマーランプ
切タイマーが1時間から8時間に設定されているときに点灯します。
- ⑪ 周囲温度ランプ
表示部に「周囲温度」が表示されているときに点灯します。
- ⑫ 切タイマー残時間ランプ
表示部に「切タイマー残時間」が表示されているときに点灯します。

3

使用方法

3-1. 運転準備



危険

- ガソリンなどの揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災の原因になります。



警告

- 可燃性粉塵（木くず、紙くず、繊維くすなど）が発生する場所、ほこり、金属粉の浮遊している場所では使用しないでください。



注意

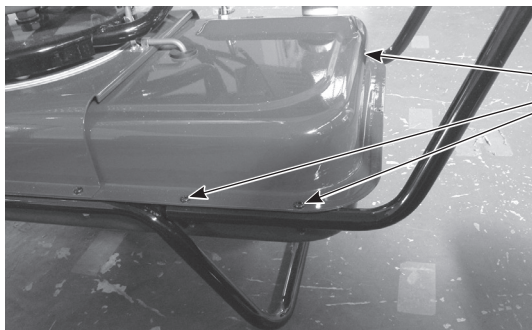
- 給油は、火が完全に消えていることを確認してから行ってください。火災の原因になります。
- 電源は、単相交流100V（90～110V）を使用してください。間違った電源を使用しますと、火災、感電、故障の原因になります。
- アースコードを接続してください。接続していないまま使用すると感電のおそれがあります。
- 電源プラグを抜く時は、必ずプラグを持って行ってください。電源コードは、無理に曲げたり、引っ張らないでください。電源コードが破損し、火災、感電の原因になります。
- 角度調整するときは、製品が冷えた状態で行ってください。高温部に触れるとやけどします。

★移動ハンドルの取り付け

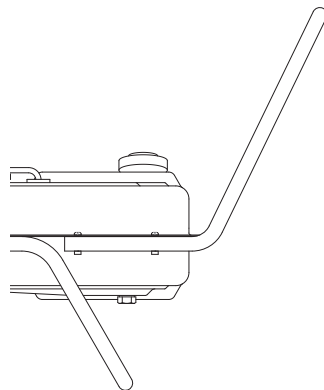
本製品はハンドルを外して梱包してあります。

ハンドルに仮止めされているネジで前後4箇所を固定してください。

移動時の転倒やけが、火災を防ぐためにハンドルを確実に取り付けてご使用ください。



ネジ4箇所
(反対側もあり)



★給油

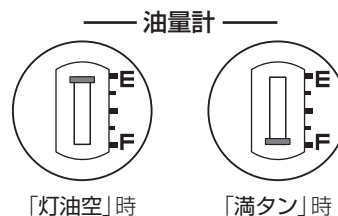
お願い

- 給油口ストレーナーにゴミが付いていないか点検してください。ゴミが付いたら給油口ストレーナーを取り出して、灯油で洗ってください。この時に使った灯油は、油タンク内にもどさないでください。故障の原因になります。
- 必ず灯油（JIS 1号灯油）を使用してください。変質灯油、不純灯油などは絶対に使用しないでください。故障の原因になります。
- 変質灯油・不純灯油を使用した事による故障につきましては、保証の対象となりませんのでご注意ください。

1 給油口ふたを外して、給油ポンプを差し込んでください。

2 油量計を見ながら、灯油を給油してください。油量計の目盛が、「F」に近くなったら、給油を停止してください。

3 給油口ふたを、確実に締め、こぼれた灯油はウエスなどで拭き取ってください。

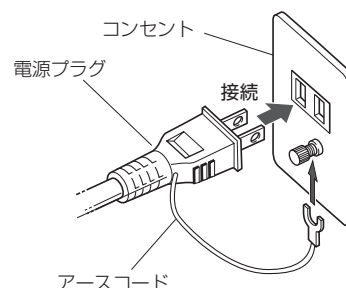


★ 電源の接続

お願い

発電機を使用する場合、使用する製品と併用している機械を合わせた消費電力が、発電機の定格出力を超えないようにしてください。また、電圧は単相交流 100V (90 ~ 110V 以内) が確保され、電圧降下がないようにしてください。火災・故障の原因になります。

- 1 運転スイッチが「切」になっていることを確認し、電源プラグをコンセントに接続してください。
- 2 アースコードを接続してください。



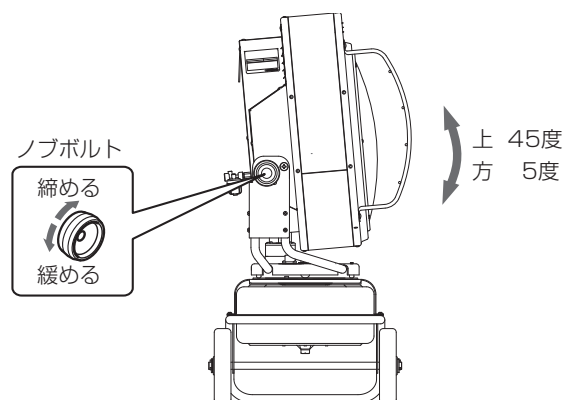
★ 本体角度の調整



注意

- 角度調整するときは、製品が冷えた状態で行ってください。高温部に触れるとやけどします。

ノブボルトを緩め、本体を持って放射部の角度を決めたらノブボルトをしっかり締めて固定してください。
放射部の角度は、上5度から45度まで変えることができます。



3-2. 運転操作方法



注意

- におい、煙の発生など異常な燃焼を起こした時は、直ちに使用を中止し販売店に連絡してください。そのまま使用すると火災の原因になります。
- 点火操作を3回繰り返しても着火しない場合は、それ以上点火操作ができなくなります。燃料切れ以外の場合には火災の原因になりますので、販売店に連絡してください。
- 製品を使用する時は、床面が高温にならないように注意してください。火災の原因になります。
- 油タンク内が汚れたまま運転をしないでください。着火不良や異常な燃焼を起こす原因になります。

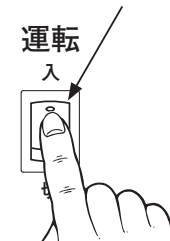
★ 点火操作

お願い

- 着火の確認をするまで、離れないでください。火が付いていない可能性があります。

- 1 油量計で燃料が入っていることを確認してください。
- 2 運転スイッチを「入」にしてください。運転ランプが点灯し、約 10 秒後に着火します。

運転スイッチ「入」



着火しなかった場合の再度の点火操作

一度、消火操作を行い、運転ランプが消灯した後に、点火操作を行ってください。

★ 燃焼量

燃焼量は、燃焼レベル1～7（弱～強）の7段階です。

標準運転、快適ゆらぎ運転の場合は、「<」「>」ボタンで燃焼レベルを設定することができます。

★ 切タイマー設定

- 1 運転中に切タイマーボタンを押しますと、切タイマーを設定することができます。
切タイマーボタンを押す度に、「連続」「1時間」「2時間」「4時間」「8時間」の順に設定が変わり、設定した部分のランプが点灯します。
「1時間」から「8時間」にタイマー設定した場合には、タイマーランプが点灯します。
タイマー運転中、表示部に「切タイマー残時間」を表示させますと、カウントダウン表示します。
- 2 「1時間」から「8時間」に設定した場合、設定した時間になると自動的に燃焼が停止します。
※切タイマー残時間が「00」になったときに運転を停止します。

★ 首振り運転



注意

- 首振り範囲内に転倒しやすい物を置かないでください。
首振り動作により接触転倒します。
- 電源コード等は、余裕をもってたるませてください。

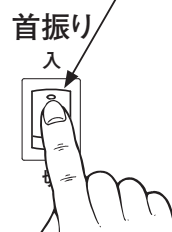
運転中に首振りスイッチを「入」にしますと、本体が左右自動首振りを開始します。

首振りスイッチを「切」にしますと、首振りが停止します。

首振りスイッチを「入」にしたまま運転スイッチを「切」にすると、約5分後に首振りが停止します。

切タイマー設定した場合は、設定した時間に燃焼が停止したあと、約5分後に首振りが停止します。

首振りスイッチ「入」



★ 消火操作



注意

- 消火操作をしたときは、火が完全に消えていることを確認してから離れてください。
- 電源プラグを抜いて消火しないでください。また、製品が完全に停止するまで電源プラグは引き抜かないでください。製品が過熱され、故障の原因になります。

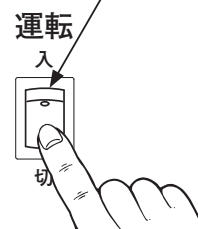
お願い

- 電源プラグをコンセントから抜くときは、送風ファンが停止したことを確認してください。

運転スイッチを「切」にしてください。

燃焼が停止し、約5分後に燃焼ファンが自動的に停止し、運転ランプが消灯します。

運転スイッチ「切」



3-3. 運転モードの説明.....

★ 快適ゆらぎ運転

設定した燃焼レベルを上限として自動で強弱を繰り返し行い、暖かさを保ちながら省エネを兼ねた運転を行います。

(設定は燃焼レベル1～7の7段階で行えますが、燃焼レベル1で設定したときは燃焼レベル1で燃焼を継続します)

操作方法

運転中に運転モード切替ボタンを押して、快適ゆらぎ運転のランプを点灯させます。

運転モードが切り替わり快適ゆらぎ運転を行います。

運転パターン	設定燃焼レベル	運転パターン (燃料レベル)
	1	1で燃焼を継続
	2	2→1→繰り返し
	3	3→2→1→2→繰り返し
	4	4→3→2→1→2→繰り返し
	5	5→4→3→2→3→繰り返し
	6	6→5→4→3→4→繰り返し
	7	7→6→5→4→5→繰り返し

燃焼レベル表示 設定している燃焼レベルまでのランプが点灯し、実際に燃焼している燃焼レベルが点滅します。

例) 燃焼レベル5で設定し燃焼レベル3で燃焼を行っている場合
燃焼レベル1、2、4、5のランプが点灯し、
燃焼レベル3のランプが点滅します。

★ エコ運転

周囲温度に応じて自動で燃焼レベル調整を行います。

(燃焼レベルは1～4の4段階で自動調整を行います)

操作方法

運転中に運転モード切替ボタンを押して、エコ運転のランプを点灯させます。

運転モードが切り替わりエコ運転を行います。

運転パターン	周囲温度	燃焼レベル
	25℃以上	1
	20～24℃	2
	15～19℃	3
	14℃以下	4

燃焼レベル表示 燃焼している燃焼レベルまでのランプが点灯します。

例) 周囲温度が16℃で燃焼レベル3で燃焼を行っている場合
燃焼レベル1、2、3のランプが点灯します。

★ 標準運転

設定した燃焼レベルで運転を続けます。

(燃焼レベルは1～7の7段階で設定できます)

操作方法

運転中に運転モード切替ボタンを押して、手動運転のランプを点灯させます。

運転モードが切り替わり標準運転を行います。

調整は「<」・「>」ボタンで、お好みの燃焼レベルに設定してください。

燃焼レベル表示 設定している燃焼レベルまでのランプが点灯します。

例) 燃焼レベル4で設定し燃焼を行っている場合
燃焼レベル1、2、3、4のランプが点灯します。

4 点検方法



注意

- 点検・手入れをするときは、必ず消火し、電源プラグを抜いてから行ってください。感電のおそれがあります。
- 本体を掃除する時は、手袋をはめて行ってください。手を切るおそれがあります。

お願い

- 給油口ストレーナーの洗浄に使った灯油を油タンクに入れたり、油タンク内の点検時に取り出した汚れた灯油を油タンクに戻さないでください。故障の原因になります。

4-1. 日常の点検と手入れ

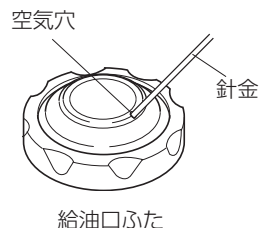
★ 給油口ストレーナー汚れ点検

- 1 給油口ふたを外し、給油口にはめられている給油口ストレーナーにゴミがついていないか点検してください。
- 2 給油口ストレーナーにゴミがついていたら、給油口ストレーナーを取り出して灯油で洗ってください。
- 3 給油口ストレーナーを給油口にはめ込み、給油口ふたを確実に締めてください。



★ 空気穴の清掃

- 1 給油口ふたの空気穴に針金などを差し込んで、ゴミを取り除いてください。
着火不良や途中失火の原因になります。



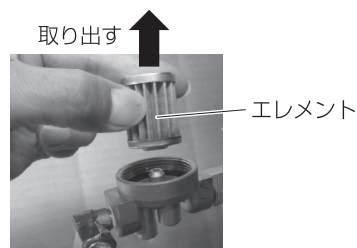
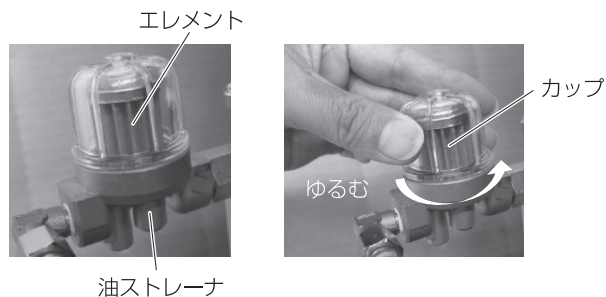
注意

- 空気穴がつまったままですと、タンク内が負圧になり、着火不良、途中失火、タンクがへこむなど、故障の原因になります。

★ エLEMENTの点検と油タンクの水抜き

ELEMENTの点検

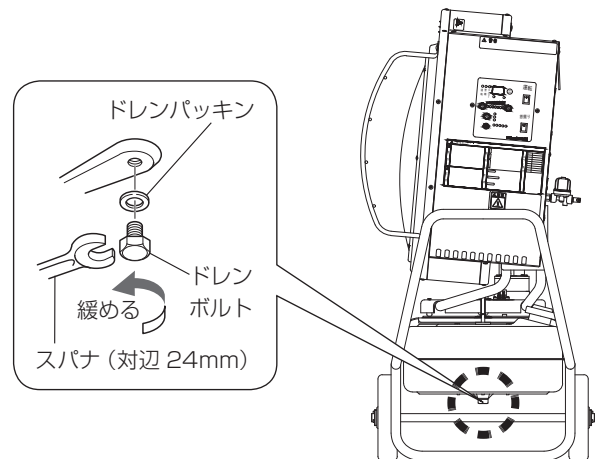
- 1 ELEMENTの汚れを点検してください。
- 2 ELEMENTが汚れている場合は、新品と交換してください。(カップを確実に締め付けてください。)



★ 油タンクの水抜き

- 1 給油口ふたを外し、給油口ストレーナーを外して、給油ポンプを差し込んでください。
- 2 給油ポンプが油を吸い込まなくなるまで、灯油を抜き取ってください。
- 3 給油口ストレーナーをはめ、給油口ふたを確実に締めてください。
- 4 給油ポンプで取りきれなかった灯油または水の混じった灯油を排出しますので、約3L分の空容器を用意し、ドレンボルトの下に置いてください。
- 5 次に、ドレンボルトをスパナなどで外し、油タンクをドレン側に傾けて、完全に排出してください。（この時、ドレンパッキンをなくさないように注意してください。）

- 6 ドレンボルトにドレンパッキンを入れ、パッキンが密着し、油漏れがないように確実に締めてください。
- 7 油タンクに付いた灯油や水は、ウエスなどで拭き取ってください。

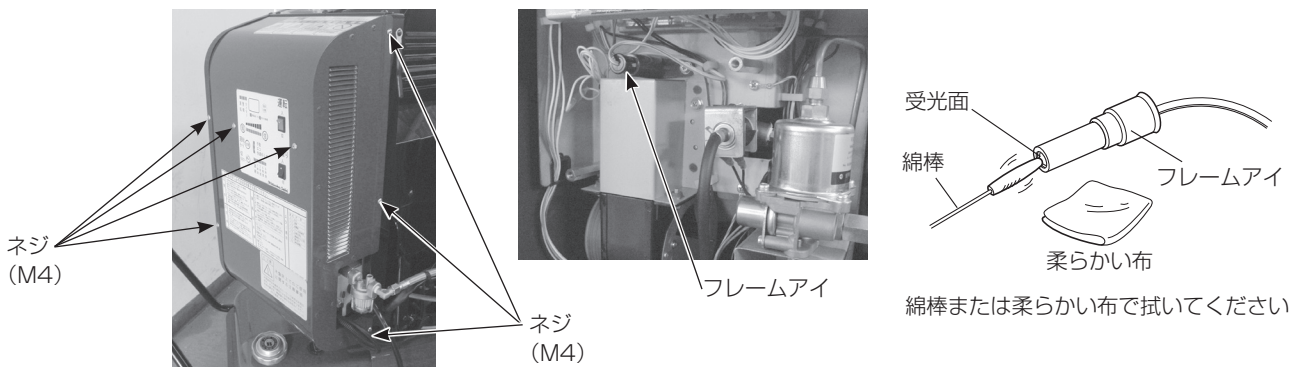


★ フレームアイの点検・掃除

お願い

- フレームアイを引き出すときは、フレームアイ本体を持って行ってください。

- 1 バーナーカバーを外し、フレームアイを引き出して受光面の汚れを点検してください。
- 2 受光面が汚れている場合は、綿棒または柔らかい布等で、透明になるまで拭いてください。
- 3 フレームアイをはめ込み、バーナーカバーをネジで確実に取り付けてください。



★ 感震器の作動点検

- 1 燃焼している製品の移動ハンドルを持ち、上下または左右に揺すってください。
- 2 感震器が作動して、自動的に消火するか確認してください。
- 3 作動しない場合は、運転スイッチで消化後、販売店に連絡してください。

★ 本体の汚れ点検

- 1 製品本体周りにゴミやほこりがたまっていないか、点検してください。
- 2 ほこりがたまっている場合は、掃除機で吸い取るか、ウエスなどで拭き取ってください。

4-2. 定期点検

長時間で使用になりますと、機器の点検が必要です。

2シーズンに1回程度、シーズン終了後などにお買い求めの販売店、またはサービス店に点検依頼してください。

5 保管方法



注意

- 保管する時、または長期間使用しない時、必ず油タンクを空にしてください。油が漏れて火災の原因になります。

お願い

- 本体に直接水がかからないようにしてください。故障の原因になります。

保管される場合には、電源プラグをコンセントから抜き、屋内の湿気の少ない場所に保管してください。

6 故障・異常時の処置方法

★ 修理サービスを依頼される前に、下記の点検をお願いします。

下記の項目以外、または処置方法に従って処置しても直らない場合は、お買い求めの販売店、または最寄りの弊社営業所（巻末参照）へお知らせください。その際に、症状の他、製品の型式名、製造番号をお知らせください。製造番号は、本体側面に貼付してある「仕様ラベル」に記してあります。

症 状	原 因	処 置 方 法
全く動かない (表示も出ない)	電源が入っていない。停電している。	電源を入れてください。
全く動かない (表示は出る)	安全装置が作動している。	安全装置を確認してください。(P.16 参照)
着火しない	油タンクに灯油がない。	給油してください(P.9 参照)
	油タンクに水が入っている。	油タンクの水抜きをして、きれいな灯油を入れてください。(P.14 参照)
	エレメントが詰まっている。	エレメントの点検と交換をしてください。(P.13 参照)
途中失火する	安全装置が作動している。	安全装置を確認してください。(P.16 参照)
	燃料が不良である。	油タンクを掃除し、きれいな灯油を入れてください。(P.14 参照)
	エレメントが詰まっている	エレメントの点検と交換をしてください。(P.13 参照)

次のような現象のときは異常ではありません。修理サービスをお申しつけになる前に、もう一度確認してください。

症 状	原 因
初めて使用のとき、煙やにおいがでる	ほこりや油分などが焼けるためです。しばらくするとなくなります。
白煙が出る	放熱部で燃焼ガスが冷却されて出る水蒸気です。異常ではありません。
点火時ににおいが出る	異常ではありません。
点火時、および消火時に「ピチピチ」と音がする	バーナー部の膨張収縮音です。異常ではありません。
消火時ににおいが出る	バーナー内部の未燃ガスで多少のにおいは出ます。異常ではありません。

★エラーコードと処置方法

製品の異常に対して作動した安全装置に応じて警報ランプが点滅し、表示部にエラーコードを表示します。

表示	内容	内容説明と対処方法
A 1	失火 (フレームアイ)	点火ミスや燃焼中に失火したときに自動的に消火します。 処置方法に従って異常原因を取り除き、電源を再投入してください。 処置後も異常が繰り返し発生する場合は、販売店に連絡してください。
A 3	過熱 (過熱防止器)	製品が異常に過熱したときに自動的に消火します。 バーナー部の異常が考えられます。販売店に連絡してください。
A 4	対震 (感震器)	運転中に振動や衝撃を受けたときに自動的に消火します。 振動や衝撃による本体の損傷が無いかわり、周囲の安全を確認し電源を再投入してください。
A 5	ファン回転異常	運転中に燃焼ファンの動作に異常が生じたときに自動的に消火します。 製品の異常が考えられ危険です。販売店に連絡してください。
A 6	低電圧	運転中に電源電圧が約70Vを下回ったときに自動的に消火します。 正常な電源に接続し、電源を再投入してください。
A 7	3回連続 着火ミス	3回連続で着火できなかったときに自動的に消火します。 燃料切れの場合に限り、給油・電源を再投入後、点火操作をしてください。 それ以外は製品に異常が考えられ危険です。販売店に連絡してください。
A 8	基板通信異常	制御基板と操作基板間で通信ができなくなったときに自動的に消火します。 基板または配線に異常が考えられます。販売店に連絡してください。 「A 8」の表示は、通信が復旧したときに表示します。
HV	異常高電圧	電圧が異常に高い電源に、電源プラグを差し込んだときに運転を禁止します。 正常な電源に接続し、電源を再投入してください。
LV	電圧低下	運転中に電源電圧が約90Vを下回ったときに警報を発します。 運転は継続しますが、正常な電源に接続し、電源を再投入してください。

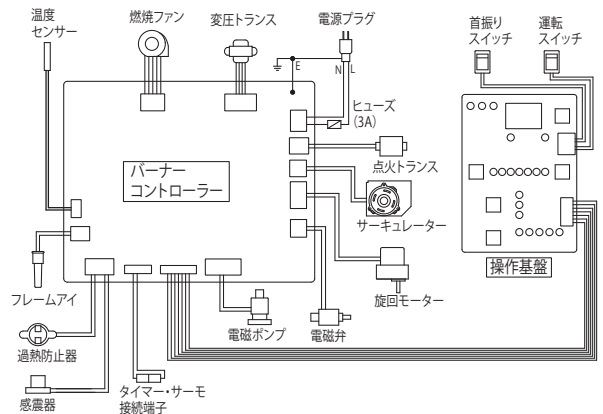
★安全装置の説明

炎監視 (フレームアイ)	点火ミスや燃焼中に失火したときに、自動的に消火します。 点火前にフレームアイの異常を検知したときに、運転を停止します。 ●作動状態：警報ランプが点灯し、表示部に「A 1」が表示され、5分間の燃焼ファン、送風ファンによる冷却（ポストパージ）を行います。
過熱防止 (過熱防止器)	製品が異常に過熱したときに、自動的に消火します。 ●作動状態：警報ランプが点灯し、表示部に「A 3」が表示され、燃焼作動中のときは、5分間のポストパージを行います。
対震自動消火 (感震器)	運転中に振動や衝撃を受けたときに、自動的に消火します。 ●作動状態：警報ランプが点灯し、表示部に「A 4」が表示され、燃焼作動中のときは、5分間のポストパージを行います。
ファン回転異常検知	運転中に燃焼ファン動作に異常が生じたときに、自動的に消火します。 ●作動状態：警報ランプが点灯し、表示部に「A 5」が表示され、燃焼作動中のときは、5分間のポストパージを行います。
低電圧検知	運転中に電源電圧が約70Vを下回ったときに、自動的に消火します。 (条件により若干変動することがあります。) ●作動状態：警報ランプが点灯し、表示部に「A 6」が表示され、燃焼作動中のときは、5分間のポストパージを行います。
異常高電圧検知	電圧が異常に高い電源に、電源プラグを差し込んだときに運転を禁止します。 ●作動状態：警報ランプが点灯し、表示部に「HV」が表示され、運転作動できません。 ◆お願い：故障の原因になりますので、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。
電圧低下検知	運転中に電源電圧が約90Vを下回ったときに警報を発します。 (条件により若干変動することがあります。) ●作動状態：警報ランプが点灯し、表示部に「LV」が表示されませんが、運転は継続します。
連続着火ミス検知	3回連続で着火できなかったときに、自動的に点火操作を禁止します。 ●作動状態：警報ランプが点灯し、表示部に「A 7」が表示され、5分間のポストパージを行い、点火操作ができません。
基板通信異常検知	バーナーコントローラーと操作基板間で通信ができなくなったときに自動的に消火します。 ●作動状態：燃焼作動中のときは、5分間のポストパージを行います。通信が復旧したときには警報ランプが点灯し、表示部に「A 8」が表示されます。
停電時安全	運転中の停電発生から電源が復帰したときに、自動的に運転を開始することを禁止します。 ●作動状態：警報ランプが点灯し、表示部に「-」が点滅表示されます。
過負荷保護 (ヒューズ)	機器の故障などの異常によって過電流が流れたときに、電源を遮断します。 ●作動状態：全停止します。

7 仕様

形 式	VAL6SY
種 類	放射式・直火形
点 火 方 式	高压放电点火
使 用 燃 料	灯油 (JIS1号灯油)
燃 料 消 費 量	2.7~4.1L/h
熱 出 力	26~39kW
油タンク容量	45L
燃 焼 持 続 時 間	11時間 (最大火力燃焼時)
外形寸法 (mm)	高さ 1050 × 幅 1195 × 奥行 545 楕円放熱ディスクφ 480 × φ 680
質量 (タンク空時)	65 kg
電 源 電 圧	AC100V (50/60Hz)
消 費 電 力	点火時: 68/69 W 燃焼時: 100/113 W [50/60 Hz]
ヒューズ	ガラス管ヒューズ 3A 250V PSE (φ 6.35 × ℓ 30)
運 転 音	68 dB (A) (最大火力燃焼時)
安 全 装 置	対震自動消火・炎監視・過負荷保護 過熱防止・異常電圧検知・電圧低下検知 ファン回転異常検知・停電時安全 連続着火ミス検知・基板通信異常検知

配線図



8 安全ラベルの一覧

安全ラベルは、製品を安全にお使いになるために重要なものです。はがしたり、汚したりしないでください。ラベルの文字が消えたり、読みにくくなった場合は、販売店に注文して貼りかえてください。

危険表示ラベル

警告 家庭用として使わないでください。 火力が強いので、火災、一酸化炭素中毒のおそれがあります。			
警告 日常点検・手入れ時は 電源プラグをコンセント から抜いてください。	警告 放熱部とその周辺は 高温になります。 手など触れないで ください。	危険 使用中は必ず換気して 新鮮な空気を供給して ください。	危険 可燃性ガス及び引火性 液体の使用及び保管 場所での使用厳禁。

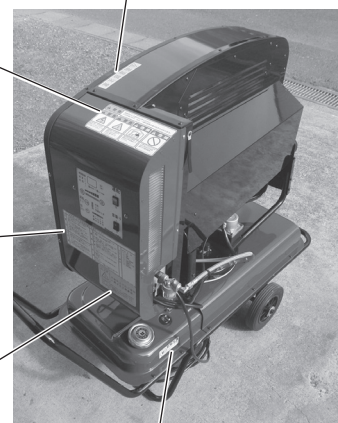
高温部注意ラベル

高温部注意

取扱注意ラベル

ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。

警告	運 転 の 手 順	エ ラ ー 表 示																				
<ol style="list-style-type: none"> 点火操作を3回繰り返しても着火しない場合は、それ以上操作できなくなります。燃料切れの場合は給油・電源再投入後に再び点火操作してください。 それ以外の場合は販売店に連絡してください。スプレーなどの影響物を加えたり、熱の当たるところに置かないでください。 可燃性ガス（水くす、霧くすなど）が発生する場所では使用しないでください。 燃焼中の火花は危険なため、及び放熱部周囲は高温になっています。手など触れないでください。 	<p>（点） 運転スイッチを「入」にすると燃焼ファンが回転し、数秒後に燃焼を開始します。</p> <p>（消） 運転スイッチを「切」にすると燃焼は停止します。約5分間、燃焼ファン・送風ファンが回転し、その後自動的に停止します。</p> <p>（待） 運転モードは「待機」ボタンを押すことで「快通」から「エコ・待機」に切替えます。</p> <p>（燃） 燃焼中切タイマーのボタンを押すと、設定した時間経過後、自動的に停止することができます。燃焼スイッチを「入」にするると再開します。</p> <p>（段） 設定した燃焼レベルを上昇して自動で換気を繰り返します。設定は7段階で行えます。</p> <p>（コ） 運転 目標温度に応じて自動で燃焼レベル調整を行います。燃焼レベルは1~4の4段階で自動調整を行います。</p> <p>（電） 電源 設定した燃焼レベルで運転を続けれます。燃焼レベルは7段階で設定できます。</p>	<table border="1"> <tr> <th>表示</th> <th>内 容</th> </tr> <tr> <td>A1</td> <td>失火</td> </tr> <tr> <td>A3</td> <td>過熱</td> </tr> <tr> <td>A4</td> <td>感震検知</td> </tr> <tr> <td>A5</td> <td>ファン自動異常</td> </tr> <tr> <td>A6</td> <td>低電圧停止</td> </tr> <tr> <td>A7</td> <td>連続着火ミス3回</td> </tr> <tr> <td>A8</td> <td>事故直前異常</td> </tr> <tr> <td>LV</td> <td>電圧低下</td> </tr> <tr> <td>HV</td> <td>異常高電圧</td> </tr> </table>	表示	内 容	A1	失火	A3	過熱	A4	感震検知	A5	ファン自動異常	A6	低電圧停止	A7	連続着火ミス3回	A8	事故直前異常	LV	電圧低下	HV	異常高電圧
表示	内 容																					
A1	失火																					
A3	過熱																					
A4	感震検知																					
A5	ファン自動異常																					
A6	低電圧停止																					
A7	連続着火ミス3回																					
A8	事故直前異常																					
LV	電圧低下																					
HV	異常高電圧																					



床面温度注意ラベル

注意

木製床上でのご使用に関する注意事項

体育館等の木製床でのヒーターご使用は床面の変色、そり等の原因になる可能性があります。床面材質が木、樹脂製の場合は別売の「ミラーシート」をご使用ください。

給油注意ラベル

危険

ガソリン厳禁
必ず灯油 (JIS1号灯油) を使用してください。

9 アフターサービス

- この製品には、1年間の無償修理保証書が付いておりますので、大切に保管してください。
なお、保証期間内に修理を依頼される場合は、保証書を添えてください。
- 下記の場合は保証の対象となりませんのでご注意ください。
 - (1) 使用摩耗や経年変化により発生する現象
例) ノズル、エレメントなどの消耗、劣化
 - (2) 誤使用による故障
例) 電源 200V 使用による電気部品の焼損
 - (3) 弊社規格内の製品の性能等が、一般的に認められる範囲である場合
例) 運転音、燃料消費量など
 - (4) 腐食性ガスの発生する場所で使用した場合の部品腐食
例) 畜舎などアンモニアガス等の発生する場所
温泉施設など硫化水素等の発生する場所
 - (5) 弊社製品を使用できなかったことによる機会損失等
 - (6) 弊社製品を使用した結果、製品の欠陥以外の原因で生じた事故、損失等
 - (7) その他、取扱説明書に記載してある以外の使い方による故障
- 無償修理期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は、有料修理致します。
販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。
この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 6 年です。
 - (1) この期間は経済産業省の指導によるものです。
 - (2) 性能部品とは、その製品を維持するために必要な部品です。

10 別売部品について

VAL6 SY (バルシックスエスワイ) に取り付けることのできる別売部品は次のものです。

名 前	使 い 方		
サーモスタット	部屋などの空間を暖めて、設定温度に保ちたいときに使用します。 設定温度範囲によって、A・B・Cの3種類があります。		
	A -10～50℃ 	B 0～100℃ 	C 40～90℃ 
タイマー	時間によって運転を行ったり、止めたりするときに使用します。24 時間タイマーで 15 分刻みの設定ができます。		
オイルタンク 95L	別置きでタンクを取り付けることができます。専用タンクでは、容量が足りないときに使います。 ※ オイルレベラーが必要になります。		
ミラーシート	床面が木造などの場合、放射熱から床面を保護するために使用します。		
ガードフェンス大型	燃焼時、安全用防護柵として使用します。		
収納カバー	製品を保管するときにほこりなどを防ぐために使用します。		



注意

- 別売部品を取り付けるときは、電源プラグを外して行ってください。
工具などの金属部分が電装部品に触れますと、感電・破損のおそれがあります。
- サーモスタット・タイマーを取り付けた場合、無人状態でも自動的に着火します。
放熱部前方の可燃物や遮へい物など周囲に燃えやすい物がないか確認してください。
火災の原因になります。

サーモスタット・タイマーの取付方法

※ 油タンクの取付方法は専用の説明書をお読みください。

◆ サーモスタット取付	左側面 (バーナーカバーを外した内部の基板付近)
<p>サーモスタットを取り付けた場合、サーモスタットの設定温度以下になりますと、突然火が付きますので注意してください。</p> <p>サーモスタットの温度感知部は赤外線が直接当たるところには、設置しないでください。正常な温度制御ができません。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 電源プラグを抜いてください。 2. 左側面のバーナーカバーを外して、基板付近に束ねてあるサーモ接続と書いたテープが巻いてある白いコードのビニタイを外してください。そのコードの端子を外して、右写真のように、エッジホルダに通して外部に出してください。 3. 外したコードのオス・メス各コネクタにサーモスタットコードのコネクタを接続してください。 	 <p>サーモ接続コード (束ねてある状態)</p> 
◆ タイマー取付	エッジホルダ
<p>タイマーを取り付けた場合、タイマーの設定時間になると、突然火がつきますので注意してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. サーモスタットの取付と同じように、白いコードのコネクタにタイマーコードを接続してください。 2. サーモスタットとタイマーを2つ同時にお使いになる場合は、白いコードとサーモスタットコード、タイマーコードが直列になるように接続してください。 	 

サーモスタット・タイマーの運転方法

運転スイッチ「入/切」を押して運転します。

①サーモスタットの場合

周囲温度がサーモスタットの設定温度になると運転が停止し待機状態になり、下がると運転を再開します。

②タイマーの場合

タイマーの設定にしたがい運転と停止（待機）を自動的に行います。

製品保証書 [保証期間 1年]

型式：VAL6 SY	製造番号：—
お客様記入欄	販売店様記入欄
お名前	販売店様名称 印
ご連絡先	
ご購入日	販売店様連絡先

弊社は、上記の製品単体について、下記の通り保証いたします。

- | | |
|--|---|
| (1) 保証期間中に、正常な使用状態において生じた、製造上の責任による故障又は損傷につきましては、無償修理をいたします。 | (3) 下記の場合は保証の対象となりませんのでご注意ください。 |
| 尚、無償修理において交換された旧部品は弊社の所有物となり、弊社が任意に処分できるものとしますのでご了承ください。 | (イ) 保証書の提示がない場合 |
| (2) 次の場合は、保証期間中でも「有償修理」といたします。 | (ロ) 製品の性能等が、弊社規格内である場合 |
| (イ) 取扱説明書に記載してある以外の使い方、誤った使用、過失及び整備、保管の不備により生じたと認められる故障等 | (ハ) 弊社製品の使用又は使用できなかったことによる二次的損害(逸失利益の損害、事業の機会の損失、その他金銭的損害等) |
| (ロ) 納入後の転倒、衝撃、及び改造や純正以外のオプション、部品の使用が原因で生じたと認められる故障等 | (4) この保証書は、お買上げ時の領収書などの購入履歴のわかるものと併せて保管してください。 |
| (ハ) 火災、地震、台風、落雷等の災害により生じたと認められる故障等 | (5) お客様がご記入されました個人情報、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がありますのでご了承ください。 |
| (ニ) 使用損耗や経年変化により発生する現象 | (6) 保証書を紛失された場合の再発行はいたしかねますのでご注意ください。 |
| (ホ) ご購入の販売店や弊社指定のサービス店以外で修理されて故障した場合 | (7) 本機の保証は日本国内で使用される場合に限りです。 |
| (ヘ) その他上記に準ずるもの | |

【 This warranty is valid only in Japan. 】

静岡製機株式会社



● 製品の修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買上げの販売店もしくは最寄りの弊社営業所にお申し付けください。

静岡製機株式会社 URL : <https://www.shizuoka-seiki.co.jp/>

北海道営業所	〒007-0804	札幌市東区東苗穂4条3丁目4番12号 TEL (011) 782-5294 (代) FAX (011) 782-8258	関西営業所	〒661-0032	兵庫県尼崎市武庫之荘東2丁目10番8号 TEL (06) 6432-7880 (代) FAX (06) 6432-7487
東北営業所	〒989-6136	宮城県大崎市古川穂波3丁目1番14号 TEL (0229) 23-7219 (代) FAX (0229) 21-1464	九州営業所 駐在	〒835-0004	福岡県みやま市瀬高町山門1841-1 TEL (0944) 88-9136 FAX (06) 6432-7487
関東営業所	〒175-0094	東京都板橋区成増1丁目17番2号 TEL (03) 6904-3786 (代) FAX (03) 6904-0302	産機営業部 産機営業企画課	〒437-1121	静岡県袋井市諸井1300 TEL (0538) 23-2825 FAX (0538) 23-2890
中部営業所	〒437-1121	静岡県袋井市諸井1300 TEL (0538) 23-1605 (代) FAX (0538) 23-1608			



インキはベジタブルインキを使用しています。弊社では、地球にやさしい印刷物を常に考えています。